

小・中・高校生のパソコン・インターネットを 利用した学習に関する意識調査報告書

eラーニング戦略研究所
eLearning Strategy Research Institute
株式会社デジタル・ナレッジ <http://study.jp>

目次

1. 調査概要	3
2. 回答者属性	4
3. まとめ	8
4. アンケート結果にみるポイント	9
5. アンケート調査結果 GTグラフ	13
GT表	36
クロス表	58

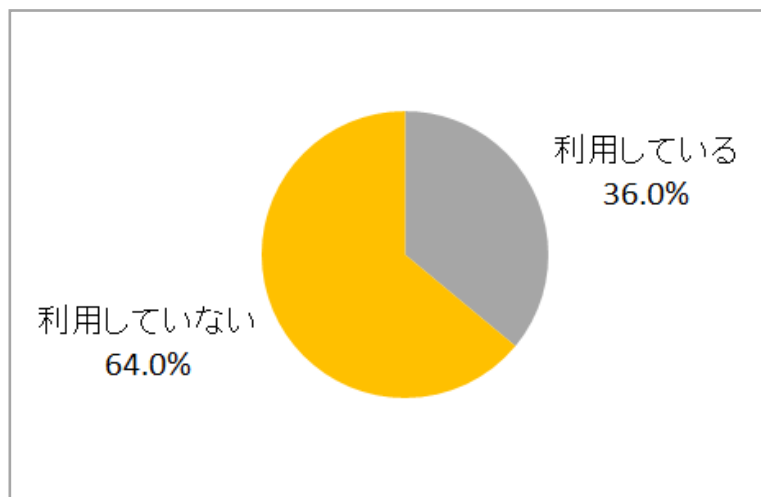
1. 調査概要

eラーニング戦略研究所は、全国の小・中・高校生の保護者(母親)100名を対象に、PC・インターネットを利用した学習に関するアンケート調査を実施しました。(有効回答数100)

その結果、小学生の約4人に1人、中学生の約2人に1人、高校生の約3人に1人が家庭での学習にPC・インターネットを利用していることが明らかとなりました。小・中学生は通信教育や無料ソフトを使った学習、調べものなどに、高校生はWebテストのほか、大学情報や過去問題の検索など受験対策に利用している人も多いようです。また、PC・インターネットを利用した学習サービスを提供している塾・予備校は現状ではまだ少なく、「利用している」と答えた人も16.2%に留まるなど、その利活用が限定的であることが明らかとなりました。

保護者からは「思考能力や学習効果を高める学習方法の確立」や「有害サイト対策や勉強に集中できる環境整備」といった課題が挙げられた今回のアンケート。一方で、PCやインターネットの特性を活かした学習へ期待する声も多く見られ、今後の家庭や教育現場における動向が注目される結果となっています。

設問5. 家庭学習にPC・インターネットを利用しているか？



設問6. どのような学習に利用しているか？

子供の年齢	利用内容
小学校3～6年生	調べものや通信教育サイトで計算問題
	英語学習ソフト
	辞書、飼育方法
	進学塾のWEB講義
	調べ物、レポート作成、YouTube視聴(学習の参考) 無料ソフトで計算などを行っている
中学生	オンライン学習
	学校で発表するためにパワーポイントなどで資料を作ったりしている教材ソフト
	調べもの、通信教育 無料の練習問題をプリントしている
高校生	英検のWebテストなど
	過去問などの検索
	学校の学習に伴う調べもの 学習のプリントのダウンロード
	大学情報

2. 回答者属性

アンケート調査概要

調査期間 : 2012年6月19日(火)～6月20日(水)

調査方法 : Webアンケート方式

調査対象 : 全国の小・中・高校生の保護者(母親)計100名

性別内訳 : 女性(100%)

年代別内訳: 30～34歳(1%)、35～39歳(20%)、40～44歳(32%)、45～49歳(30%)、50～54歳(16%)、
55歳(1%)

子供の年代: 小学3年生～6年生(34%)、中学生(33%)、高校生(33%)

性別内訳

		N	%
全体		100	100.0%
1	男性	0	0.0%
2	女性	100	100.0%

年代別内訳

		N	%
全体		100	100.0%
1	30歳～34歳	1	1.0%
2	35歳～39歳	20	20.0%
3	40歳～44歳	32	32.0%
4	45歳～49歳	30	30.0%
5	50歳～54歳	16	16.0%
6	55歳～55歳	1	1.0%

子供の年代

		N	%
全体		100	100.0%
1	小学校3年～6年生	34	34.0%
2	中学生	33	33.0%
3	高校生	33	33.0%

都道府県別

全体		N	%	全体		N	%
		100	100.0%			100	100.0%
1	北海道	8	8.0%	25	滋賀県	0	0.0%
2	青森県	0	0.0%	26	京都府	2	2.0%
3	岩手県	0	0.0%	27	大阪府	10	10.0%
4	宮城県	1	1.0%	28	兵庫県	8	8.0%
5	秋田県	0	0.0%	29	奈良県	3	3.0%
6	山形県	1	1.0%	30	和歌山県	1	1.0%
7	福島県	1	1.0%	31	鳥取県	1	1.0%
8	茨城県	0	0.0%	32	島根県	0	0.0%
9	栃木県	1	1.0%	33	岡山県	2	2.0%
10	群馬県	2	2.0%	34	広島県	1	1.0%
11	埼玉県	2	2.0%	35	山口県	0	0.0%
12	千葉県	8	8.0%	36	徳島県	0	0.0%
13	東京都	11	11.0%	37	香川県	0	0.0%
14	神奈川県	14	14.0%	38	愛媛県	0	0.0%
15	新潟県	3	3.0%	39	高知県	0	0.0%
16	富山県	1	1.0%	40	福岡県	4	4.0%
17	石川県	1	1.0%	41	佐賀県	0	0.0%
18	福井県	0	0.0%	42	長崎県	2	2.0%
19	山梨県	1	1.0%	43	熊本県	1	1.0%
20	長野県	0	0.0%	44	大分県	1	1.0%
21	岐阜県	3	3.0%	45	宮崎県	0	0.0%
22	静岡県	0	0.0%	46	鹿児島県	0	0.0%
23	愛知県	5	5.0%	47	沖縄県	1	1.0%
24	三重県	0	0.0%	48	海外	0	0.0%

3. まとめ

文部科学省による学校施設改善事業の一環で学校内にもPCや校内LANが整備されるなど、教育現場のIT化が進められつつあります。そんななか、家庭や塾におけるPC・インターネットを利用した学習の現状はどのようになっているのでしょうか。また、保護者はこの流れをどのように捉えているのでしょうか。今回は、全国の小・中・高校生の保護者(母親)100名を対象に、PC・インターネットを利用した学習に関するアンケート調査を実施しました。

その結果、小学生の約4人に1人、中学生の約2人に1人、高校生の約3人に1人が家庭での学習にPC・インターネットを利用しており、PC・インターネットを利用した家庭学習が年代を問わずある程度定着していることが明らかとなりました。利用していない家庭でも「良い教材があれば使いたい」という意見がすべての年代に共通して見られ、それぞれの年代に合った効果的な教材がないことがPC・インターネット学習に消極的な一因となっている可能性も考えられます。

また、塾・予備校でPC・インターネットを利用した学習サービスを「利用している」と答えたのは16.2%に留まり、同サービスが「用意されていない」塾・予備校は56.8%に上ることがわかりました。ブロードバンドの普及に伴って利用者を急速に伸ばし教育市場における活用も注目されているインターネット動画配信サービスについても、塾・予備校での利活用はほとんど進んでいないのが現状のようです。今後、PC・インターネットを利用した学習サービスの価値が創出され、導入した塾・予備校が他校との差別化に成功するかどうかがかぎとなりそうです。

PC・インターネットを利用した学習の今後の課題について、「思考能力や学習効果を高める学習方法の確立」「有害サイト対策や勉強に集中できる環境整備」などが挙げられ、急速な教育IT化の流れに不安や疑問をもつ保護者もいることが浮き彫りとなった今回のアンケート。その一方で、PCやインターネットの特性を活かした学習への期待や、社会でも通用するより実践的な学習への利活用を望む声も多く聞かれました。今後、PC・インターネットを利用したより効果的な学習方法の確立や周辺環境の整備に期待したいところです。

4. アンケート結果にみるポイント

- 小学生の7割以上、中・高校生の9割以上が家庭でPC・インターネットを利用
- 主な利用用途は「調べもの」「ゲーム」「動画共有サイトの視聴」など

家庭における子供たちのPC・インターネットの利用状況について尋ねたところ、「利用している」が88%、「利用していない」が12%という結果となった。年代別に見ると、小学生の利用率は76.5%、中・高校生の利用率は93.9%だった。また、小学生は週1～2時間、中・高校生は週5～10時間の利用が多く、年代が上がるにつれPC・インターネット利用率が伸びることがわかった。

主な利用用途は、「調べもの」80.7%、「ゲーム」56.8%、「動画共有サイトの視聴」56.8%などとなり、子供の年代に関わらず調べものにPCやインターネットが活用されていることがわかった。また、学年が上がるにつれゲームの利用率は減り、「動画共有サイトの視聴」「音楽ダウンロード」「SNS・チャット」の利用率が急増している。

次に、PC・インターネットを利用していない(利用させていない)と回答した人にその理由を尋ねたところ、小学生の保護者は「親がついている必要がある」「PCを仕事に使っているので」「目が悪くなる」など、PCやインターネットにはまだあまり触れさせたくないといった意見が見られた。中・高校生になると子供の興味が携帯やタブレットなどに移ることが多いようだ。

今後のPC利用に関しては子供の年代に関わらず、「現状のままでよい」と考えている保護者が多い結果となった。その一方で学年が低いほど「積極的に利用してほしい」が多いことから、小学生のPC活用に検討の余地があるともいえる。また、年代が上がるにつれ「利用時間を減らして欲しい」が増えるのは、勉強に力をいれてほしいとの保護者の願いが込められている可能性が考えられる。

以上の結果から、多くの子供たちが家庭で日常的にPCやインターネットを利用していることが明らかとなった。年代が上がるにつれその利用率は伸びており、子供たちが大人と同様にPCやインターネットで調べものをしたり、ゲームや動画サイトの視聴を楽しんだりしていることがわかる。PC・インターネットは若者のテレビ離れの一因と言われているが、いずれにせよ現代の子供たちは以前に比べて格段に多くの情報に接する環境にあると言える。

■小・中・高校生の約3人に1人が家庭学習にPC・インターネットを利用 ■利用していない家庭も「良い教材があれば使いたい」

次に家庭学習におけるPC・インターネットの利用状況を調べた。その結果、小学生の約4人に1人、中学生の約2人に1人、高校生の約3人に1人が家庭での学習にPC・インターネットを利用していることが明らかとなった(全体では36%の利用率)。小・中学生は通信教育や無料ソフトを使った学習、調べものなどに利用している。高校生はWebテストのほか、大学情報や過去問題の検索など受験対策に利用している。

家庭学習にPC・インターネットを利用していない(利用させていない)理由を聞いたところ、「小学生のうちには辞書や本を使って自分の力で調べたり書いたりしてほしい」と考える保護者が多いことがわかった。「従来の勉強方法で足りている」という意見も多かった。一方で、子供に合う良い教材がない為利用していないという家庭も少なくないようだ。中学生になると塾や部活で忙しく家庭学習の時間がなかなか取れないケースが多い。「本人がやりたがらない」「良い教材があれば使いたい」という声も見られた。高校生の保護者からは、「良い教材がない」「高いイメージがある」など、年代に合った手頃な教材が見つからないという意見が多かった

家庭学習にPC・インターネットを利用することについての評価は、「どちらともいえない」「やや好ましい」が多く、年代が上がるにつれ「好ましい」が増える傾向が見られた。「好ましい」と答えた人に、PC・インターネット学習の時間をさらに増やしたいかどうか尋ねたところ、「現状のままでよい」が8割以上となった。

以上の結果から、PC・インターネットを利用した家庭学習は、年代を問わずある程度定着していることがわかる。その学習時間については「現状のままでよい」と回答した保護者が多いことから、PC・インターネット学習の効果にすでに満足しているか、もしくは学習効果やメリットが十分に実感できていない可能性も考えられる。「良い教材があれば使いたい」という意見はすべての年代に共通しており、それぞれの年代に合った効果的な教材に出会えていないことがPC・インターネット学習に消極的な一因となっているとも推察される。

■塾・予備校でのPC・インターネット学習利用率は16.2%

■無料サービスの導入など他塾・他校との差別化が注目ポイント

塾や予備校におけるPC・インターネットを利用した学習サービスの現状はどうだろうか。

アンケートの結果、塾・予備校でPC・インターネットを利用した学習サービスを「利用している」と答えたのは16.2%で、主に講義映像を見たりテストを受けたりしていることがわかった。このうち無料でサービスを利用しているのは13.5%、有料サービスは2.7%に留まった。また、「別料金で用意されているが利用していない」層も5.4%いることがわかった。一方で、同サービス自体が「用意されていない」塾・予備校は56.8%に上ることがわかった。さらに、サービス内容をインターネット動画配信に限定した場合、「用意されていない」塾・予備校は9割近くに上った。

今後、インターネット動画配信サービスを塾や予備校で用意してほしいかどうか尋ねたところ、「どちらともいえない」が過半数を占めたものの、中・高校生の保護者からは「用意してほしい」という声も上がっており、その理由として復習や欠席時に利用したいといった意見が見られた。また、塾・予備校でIT機器・サービスを導入してほしいかという質問には、「積極的に取り入れてほしい」10%、「徐々に取り入れてほしい」39%、「あまり取り入れてほしいと思わない」39%という結果となった。

以上の結果から、PC・インターネットを利用した学習サービスを提供している塾・予備校は現状ではまだ少なく、その利用者も一部に留まることが明らかとなった。ブロードバンドの普及に伴って利用者を急速に伸ばし教育市場における活用も注目されているインターネット動画配信サービスについても、塾・予備校での利活用はほとんど進んでいない。

また、ITを活用した新しいサービスを教育にも積極的に取り入れたいとする保護者がいる一方、その活用に消極的、あるいは無関心な保護者も少なくない。料金面についても保護者の目は厳しくなっており、プラスαの学習サービスが無料で提供されるかどうか大きな問題となりそうだ。今後、PC・インターネットを利用した学習サービスの価値が創出され、導入した塾・予備校が他塾・他校との差別化に成功するかどうか注目される。

- 今後の課題は「思考能力を高める学習方法の確立」「有害サイト対策ほか環境整備」など
- 時間・場所を問わず学習できるメリットを活かしつつ、より実践的な活用に期待感

最後に、PCやインターネットを利用した学習の課題についてアンケートを行なった。

その結果、小学生の保護者は、「学習方法が確立されていない」「使いこなせる先生、生徒がどれだけいるか」といった環境面・活用手法への疑問や、「視力の低下」といった健康への影響、「子供が一人でも安全に学習のみに使えるような設定」といった有害サイト対策等を課題に挙げる人が多かった。その一方で、「わからない所をインターネットを通してリアルタイムで教えてもらえる」「答えがわからなかったときの個別回答や説明」などに期待する声も見られた。

中学生の保護者からは、「考える力の減退につながる」「PC学習に依存しすぎて本来の教育内容がおろそかになる」といった思考能力・学習効果の低下を心配する声や、「サイトの厳選」「有害なものに触れさせない」といった有害サイト対策などの課題が挙げられた。一方で、「質問するとすぐに説明してくれる」「いろいろ調べるのに便利だから活用すべき」など、インターネットの特性を活かした学習への期待も大きい。

高校生の保護者は、「面白い動画授業を見て理解したつもりになるのが怖い」「自分で調べる努力をしなくなる」といった思考能力の低下に対する懸念や、「対話・交流が少なくなる」「他者とのコミュニケーションが取れなくなる」などコミュニケーション不足の危険性を指摘する人が多かった。一方で、「家にいながらにして授業を受けられるのはメリット」という意見もあった。また、テストや添削、レポート作成など、より実践的な活用を期待する声も見られた。

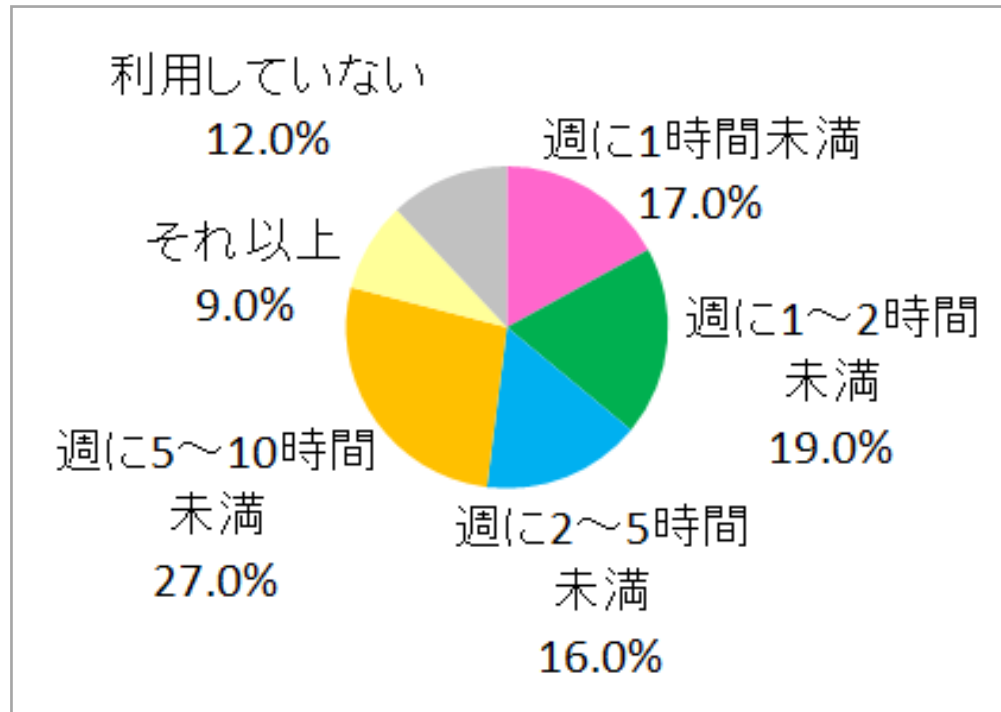
子供の年代によってさまざまな課題が挙げられたが、大別すると「思考能力や学習効果を高める学習方法の確立」「有害サイト対策や勉強に集中できる環境整備」に集約できそうだ。ただ視聴するだけでなく“自分で考えられる力を伸ばす学習手法”を保護者は望んでいる。アンケートではPC・インターネット学習の課題を尋ねたが、結果的にインターネットの特性を活かした学習への期待や、社会でも通用するより実践的な学習への利活用を望む声も多く聞かれた。今後、PC・インターネットを利用したより効果的な学習方法の確立や周辺環境の整備に期待したい。

5. アンケート調査結果

GT グラフ

■設問1

お子様のご家庭でのパソコンやインターネット利用状況について、
あてはまるものをお答えください。(お答えは1つ)



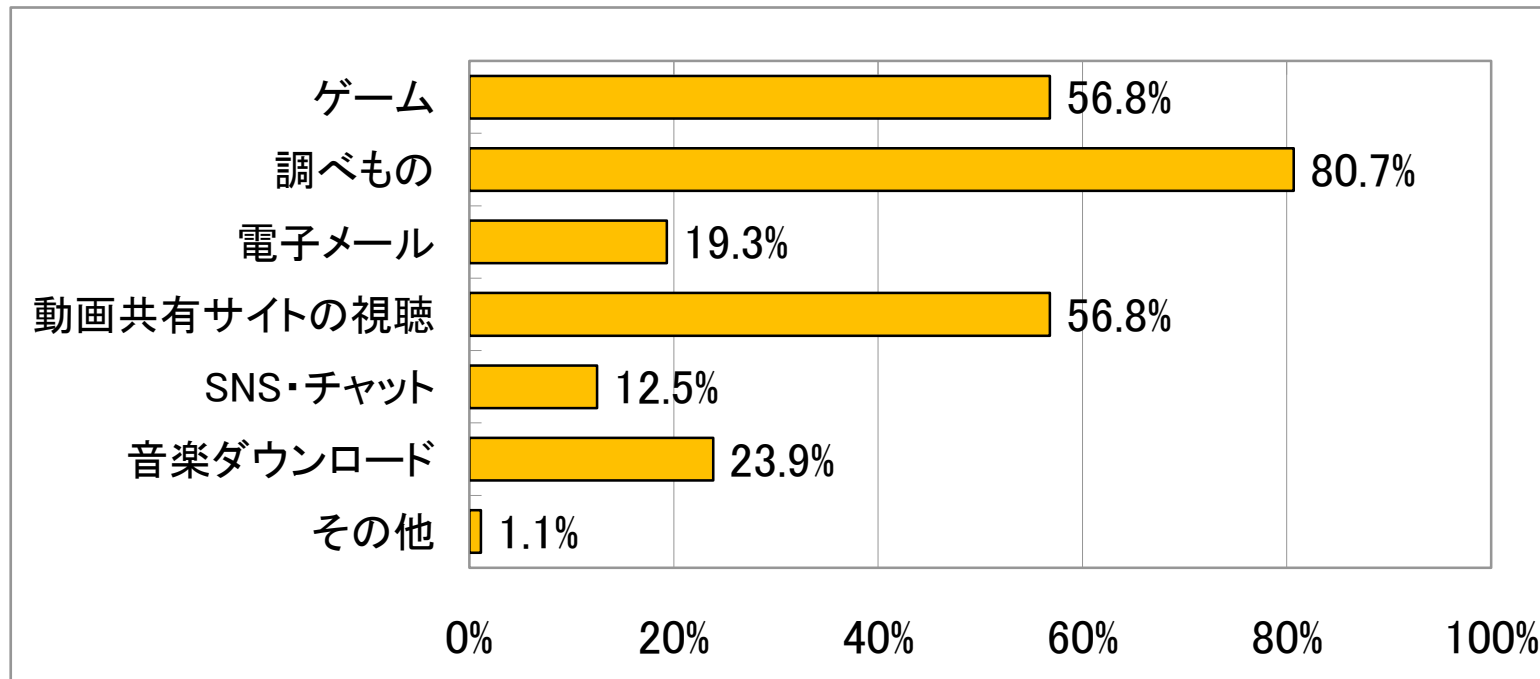
N=100

■考察

- ・「利用している」が88%、「利用していない」が12%
- ・利用している家庭のうち、週5時間以上の利用が36%。

■設問2

設問1で「利用している」と答えた方にお聞きします。
主な利用用途は何ですか？(複数回答可)



その他…通信教育

N=88

■考察

・主な利用用途は、「調べもの」「ゲーム」「動画共有サイトの視聴」など。

■設問3

設問1で「利用していない」と答えた方にお聞きします。
その理由をお答えください。(自由回答)

子供の年齢	理由
小学校3～6年生	親がついていないといけないから
	インターネットを利用させたくない
	興味が無いみたいだから
	PCを仕事に使っているので子どもに触らせたくない
	お勉強はノートに書くのが一番なので
	目が悪くなる
中学生	家族と使用時間が重なりやすい
	パソコンよりiPadがいい。パソコンは起動が面倒でウイルスチェックなど不便
高校生	携帯で足りているよう
	パソコンに興味ないし、使用禁止

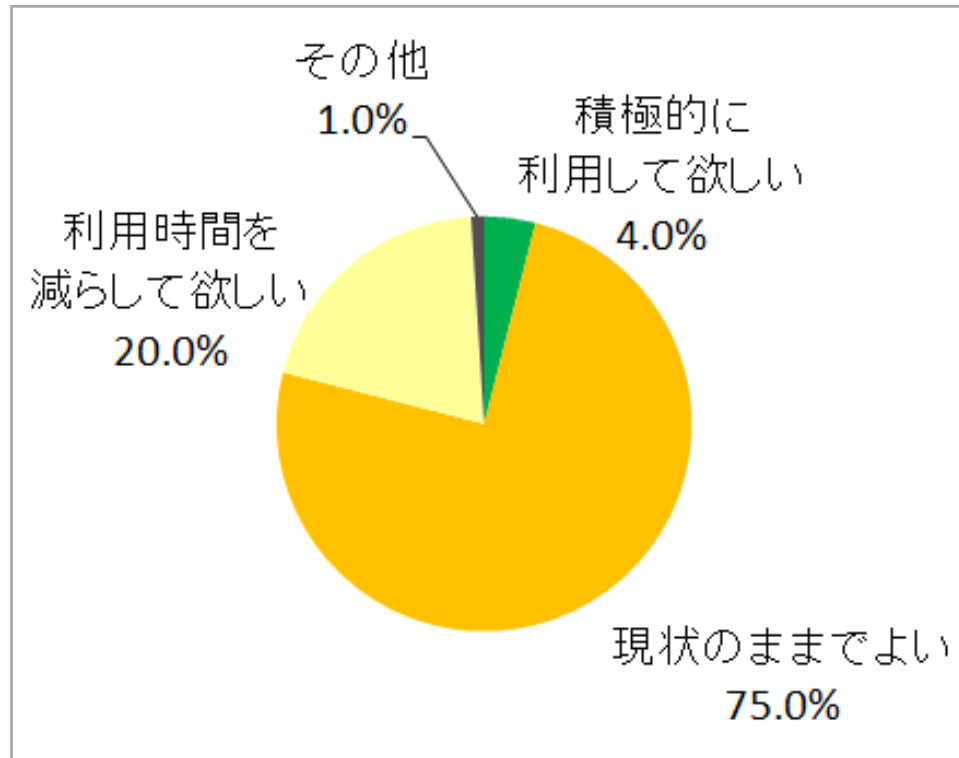
(一部抜粋)

■考察

- ・小学生のうちにはパソコンやインターネットに触れさせたくないという意見が多い。
- ・中・高校生になると子供の興味が携帯やタブレットなどに移る。

■設問4

今後のお子様のパソコン・インターネット利用に関してどのようにお考えですか？（お答えは1つ）

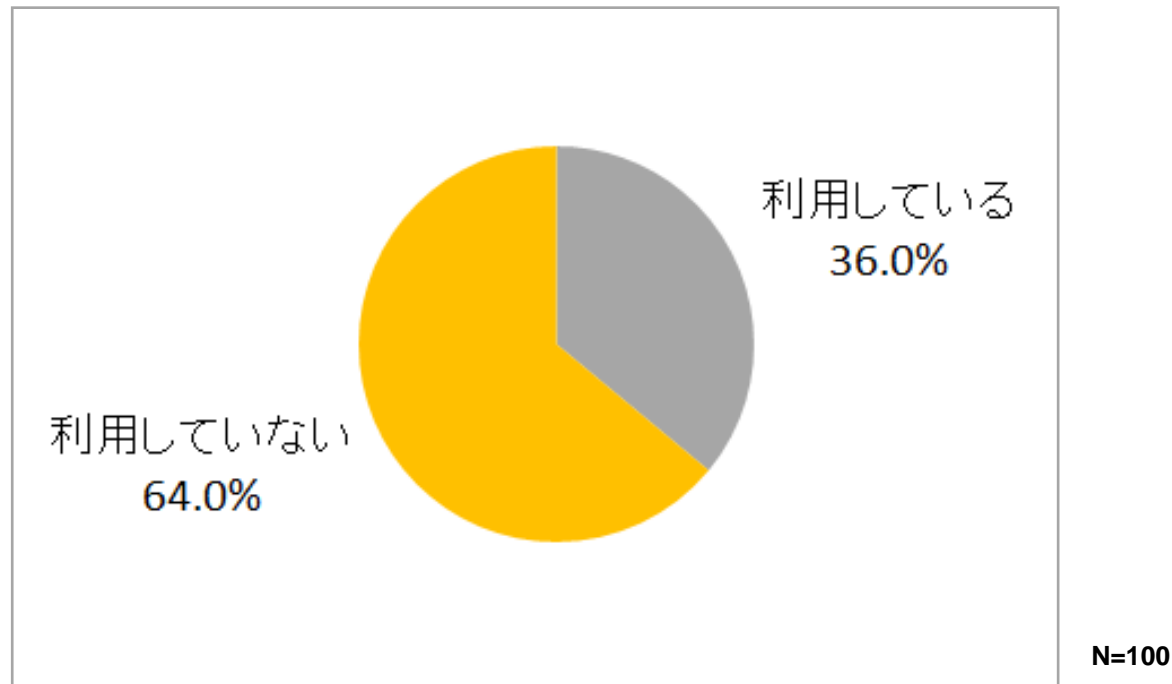


■考察

・「現状のままでよい」が75%で最多。

■設問5

現在、お子様は家庭学習にパソコン・インターネットを利用していますか？（お答えは1つ）



■考察

・約3人に1人が家庭学習にパソコン・インターネットを使用している。

■設問6

設問5で「利用している」と答えた方にお聞きします。どのような学習に利用されていますか？
(自由回答)

子供の年齢	利用内容
小学校3～6年生	調べものや通信教育サイトで計算問題
	英語学習ソフト
	辞書、飼育方法
	進学塾のWEB講義
	調べ物、レポート作成、YouTube視聴(学習の参考)
中学生	無料ソフトで計算などを行っている
	オンライン学習
	学校で発表するためにパワーポイントなどで資料を作ったりしている
	教材ソフト
	調べもの、通信教育
高校生	無料の練習問題をプリントしている
	英検のWebテストなど
	過去問などの検索
	学校の学習に伴う調べもの
	学習のプリントのダウンロード
	大学情報

(一部抜粋)

■考察

- ・小・中学生は通信教育や教材ソフトを使った学習、調べものなどに利用している。
- ・高校生はWebテストのほか、大学情報や過去問題の検索など受験対策に利用している人も多い。

■設問7

設問5で「利用していない」と答えた方にお聞きします。

その理由を教えてください。(自由回答)

子供の年齢	利用していない理由	
小学校3～6年生	パソコンを使った学習に否定的	パソコンを使うより紙と鉛筆と辞書を使いこなせた方が良い年齢だから
		検索するとすぐに答えが見つかるのはあまりよいと思わない
		パソコンを使わせたくないから。子供のうちは書物で調べ物をさせたい
		勉強方法としてよいと思えない
		子供だけではできないから
		まずは手で書く事や自ら本などで調べることを覚えて欲しい
	他の学習方法で足りている	パソコンは使用させていないから
		塾へ通っているので
		それ以外の教材で学習している為 PCを利用しなくても、従来の勉強方法で十分だから
	良い教材がない	金額や良い教材がわからない
		価格が高い 子供に合うものがなかなか見つからない
	その他	以前英語教材でパソコンを使用していたが高い割にすぐあきてしまい、無駄なお金になってしまったので今はやっていない
		目に悪い
		教材をしているふりをして遊びそうだから
勉強が嫌いなので、パソコンを使ってまでしたがない		

(一部抜粋)

■考察

- ・小学生のうち辞書や本を使って自分の力で調べたり書いたりしてほしいと考える保護者が多い。
- ・一方で、子供に合う良い教材がない為利用していないという家庭も少なくない。

子供の年齢	利用していない理由	
中学生	時間がない	小学生の時は時間もたっぷりあるのでやらせていたが、中学生になると部活や塾で忙しく時間がない
		塾に行っているので、時間がない
		学校や塾の宿題で時間がないから
	本人の意欲の問題	以前少しやっていたが、あまり進まなかった
		そもそも勉強をしない
		本人がやりたがらない
	他の学習方法で足りている	塾や教材を利用しているから
		パソコンではなく、DSの学習ソフトを使って勉強しているから
	必要ない	特にインターネットで学習する必要性を感じないから
		必要ないので
	その他	良い教材があれば使いたい
		教材が高い
パソコンの使用時間が家族と重なりやすい。リビングに置いてあり、環境的に学習に適さない		
勉強しているのか遊んでいるのか区別がつかず言い訳にされてしまう		
そのような家庭学習があることを知りませんでした		

(一部抜粋)

■考察

- ・中学生になると塾や部活で忙しく家庭学習の時間がなかなか取れないケースが多い。
- ・「本人がやりたがらない」「良い教材があれば使いたい」という声も。

子供の年齢	利用していない理由	
高校生	良い教材がない	良い教材がない
		どのような教材があるのか分からない
		どのような教材があるかわからない。パソコンで勉強しそうで無い
		どんな教材があるか知らないし、高いイメージがあるため
	必要ない	良いものがあれば、積極的に利用したい
		勉強は学校のことだけでいいと思うから
		特に必要を感じない
		必要ない
		インターネットでなくてもいい
	本人の意欲の問題	パソコンがなくても学習は出来る
		利用出来る状態にあると思うが本人がやりたがらない 本人任せ
	その他	これ以上やる時間がない
		パソコンを使用した学習より机上での学習に重きを置くから
		電子辞書を利用している
		学習するふりをしてゲームをしそう

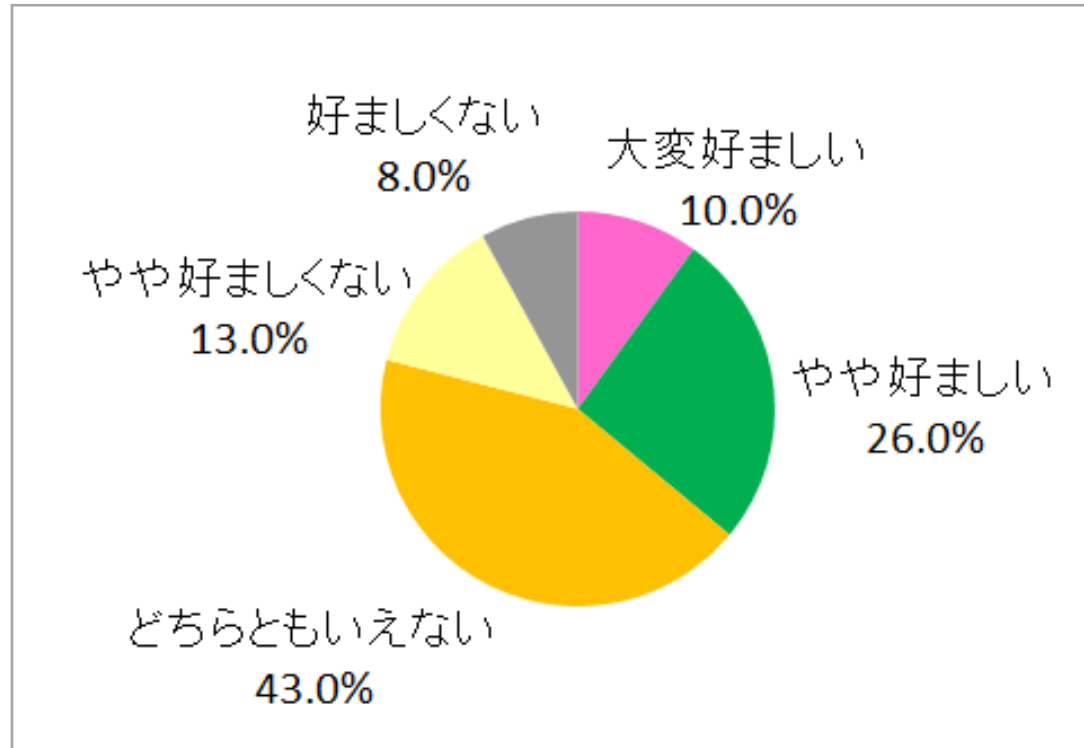
(一部抜粋)

■ 考察

- ・ **高校生のための良い教材がない**という意見が多い。
- ・ 「必要ない」と回答する保護者も多く、その背景には **パソコンやインターネットを使った学習の効果・メリットを実感できていない可能性**が考えられる。

■設問8

家庭でパソコン・インターネットを利用して学習することについてどのように思われますか？
(お答えは1つ)

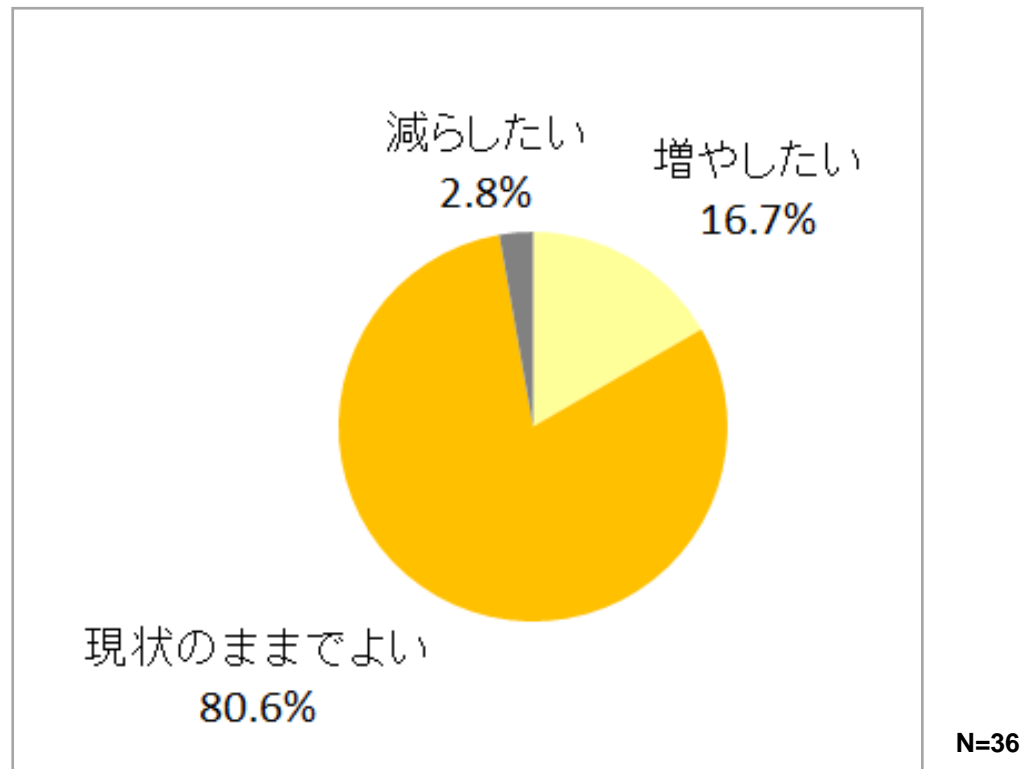


■考察

- ・「どちらともいえない」「やや好ましい」が多い。
- ・メリットとデメリットの両方を感じている保護者が多いと推察される。

■設問9

設問8で「大変好ましい」「やや好ましい」と答えた方にお聞きします。今後、家庭でパソコン・インターネットを利用して学習する時間を更に増やしたいと考えていますか？（お答えは1つ）

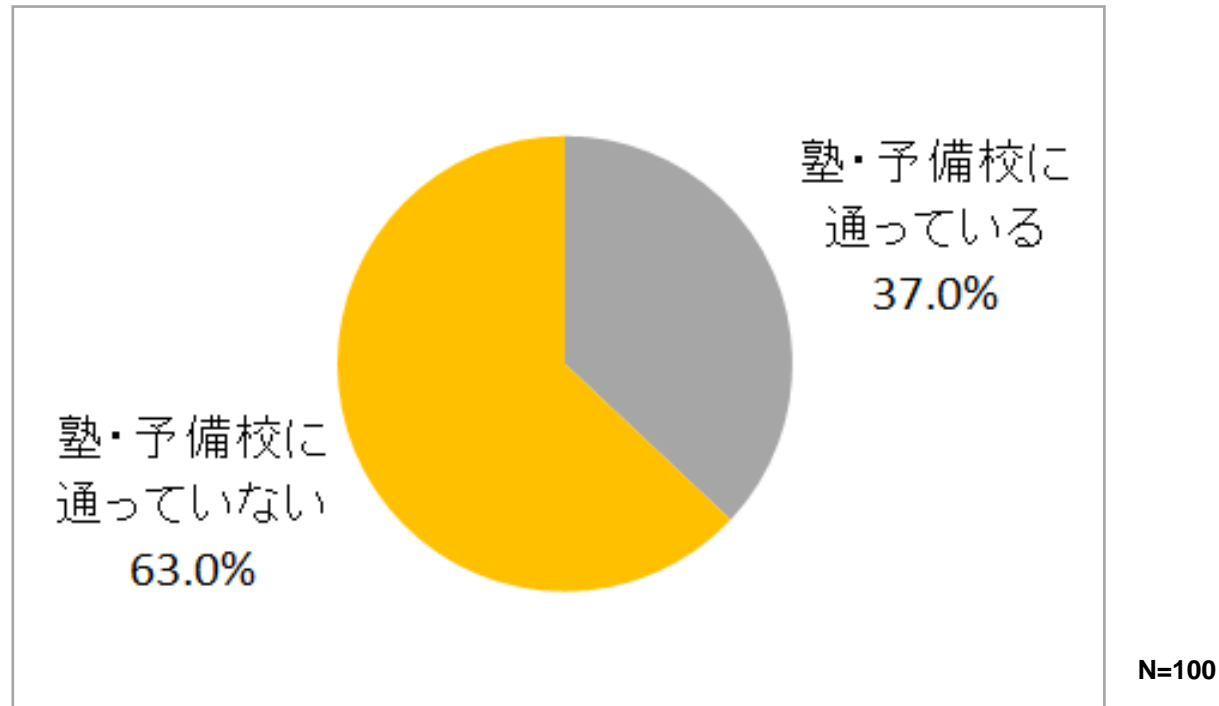


■考察

- ・「現状のままでよい」が80.6%、「増やしたい」も16.7%。
- ・パソコン・インターネットを使った学習の効果がまだ十分に認識されていない可能性もある。

■設問10

お子様は現在、塾・予備校に通われていますか。(お答えは1つ)

**■考察**

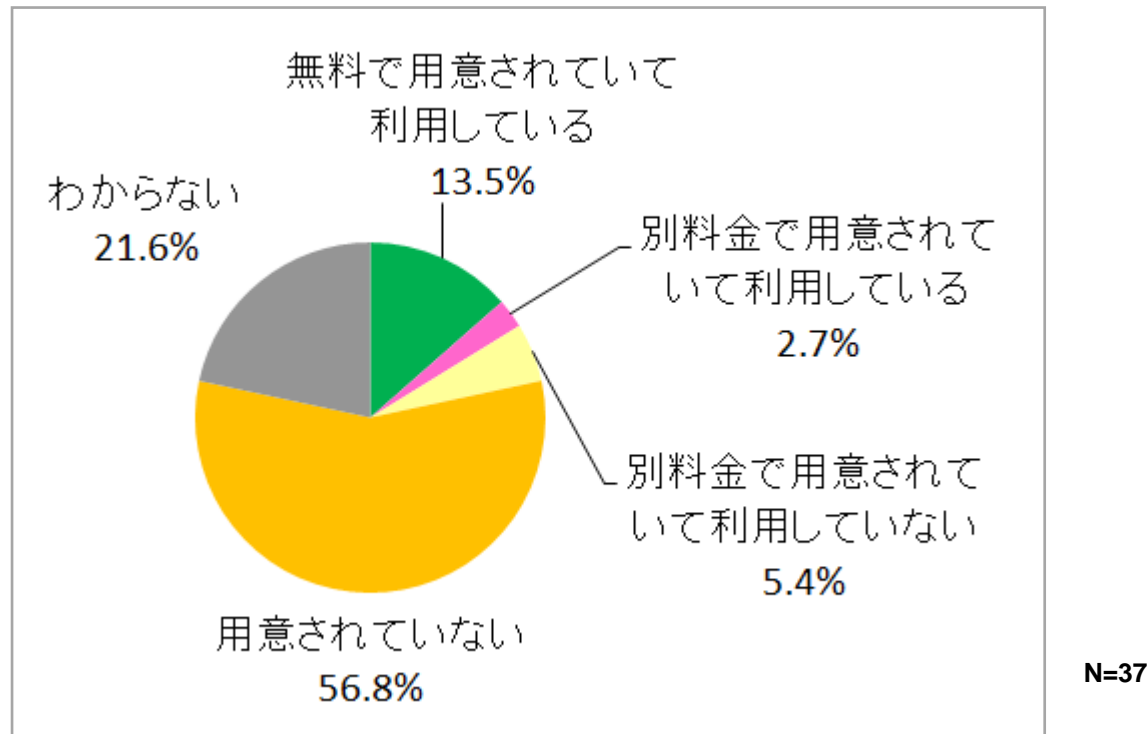
- ・ 約4割の子供が塾・予備校に通っている。

■設問11

設問10で塾・予備校に「通っている」とお答えの方にお聞きします。

塾・予備校ではインターネット・パソコンを利用した学習サービスが用意されていますか。

また、利用していますか。(お答えは1つ)



■考察

- ・「利用している」が16.2%。
- ・インターネット等を利用した学習サービスが用意されていない塾・予備校が過半数。

■設問12

設問11で「利用している」とお答えの方にお伺いします。
それはどのようなサービスですか。(自由回答)

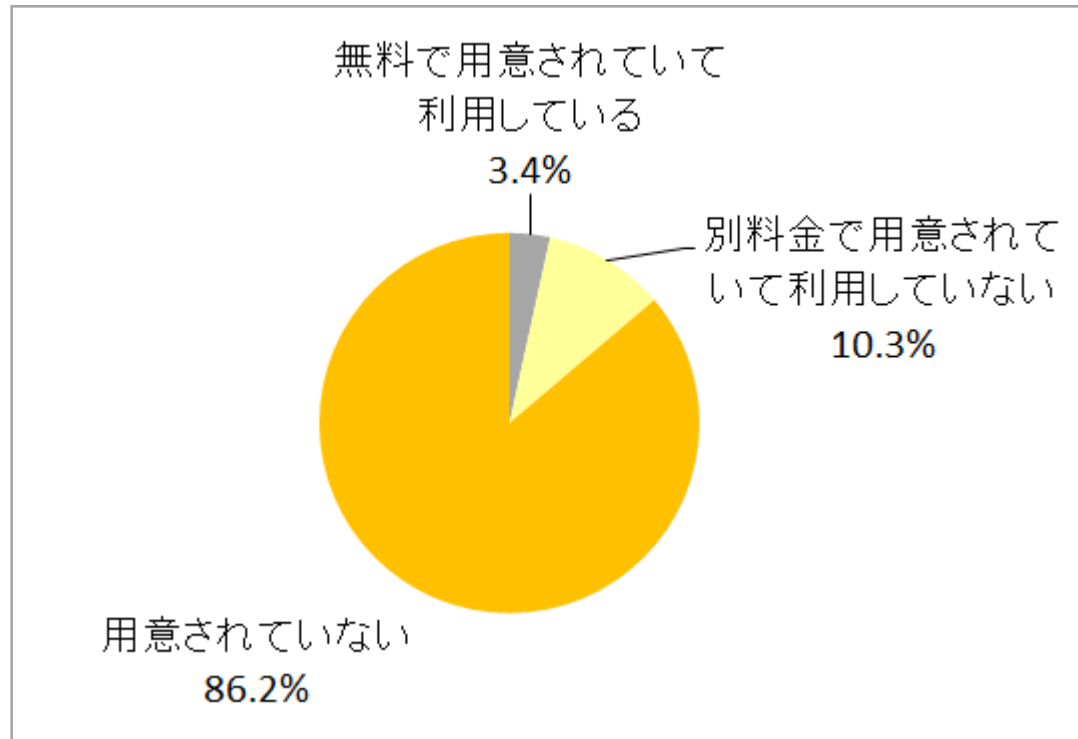
子供の年齢	利用しているサービス
小学校3～6年生	講義内容、説明会
	講義映像
中学生	講義
	テスト
高校生	定着テスト
	学習トレーニング

■考察

・塾・予備校では、講義映像を見たりテストを受けたりする学習サービスが主流。

■設問13

現在ご利用されている塾・予備校ではインターネット動画配信サービスが用意されていますか？
また、利用していますか？（お答えは1つ）



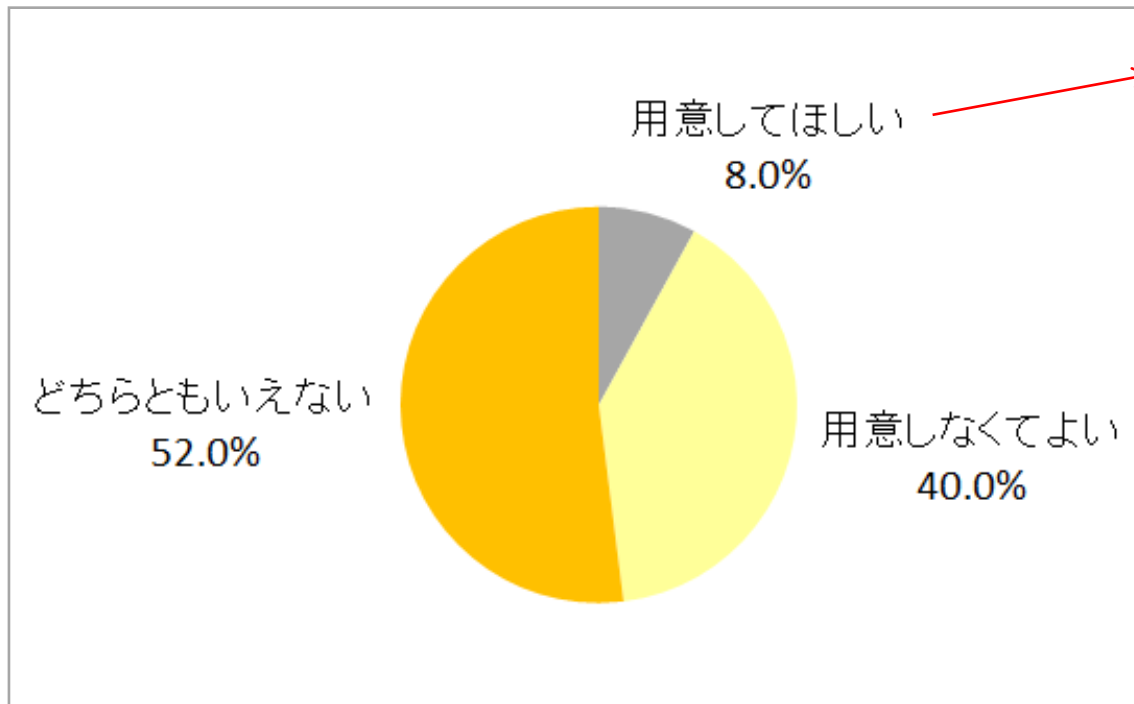
■考察

- ・インターネット動画配信サービスを提供している塾・予備校はごく少数。
- ・利用しているのは無料でサービスが受けられる人のみ。

■設問14

設問13で「用意されていない」とお答えの方にお聞きします。

インターネット動画配信サービスを用意してほしいですか？（お答えは1つ）



Q.その理由は？

- ・復習や欠席時に利用できるから
- ・疲れたときに違う視点から勉強してほしい

Q.別料金が発生する場合
負担してもよい金額は？（月額）

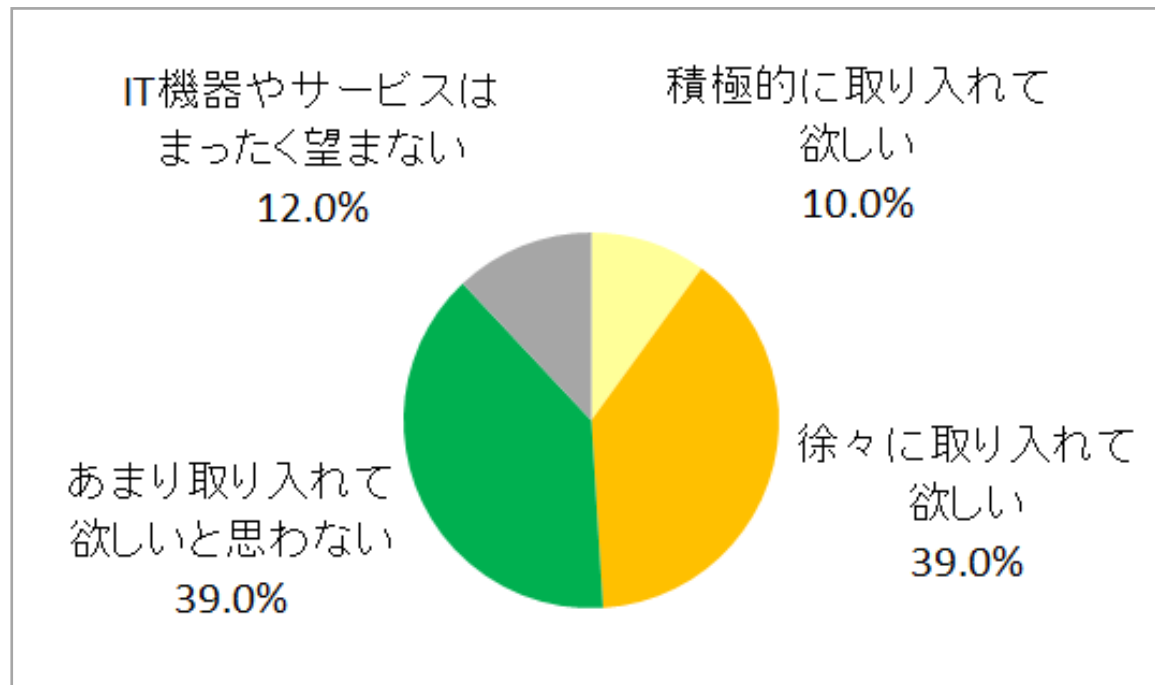
- ・10,000円
- ・1,500円

■考察

- ・用意してほしいと答えた人はインターネット動画配信を復習や欠席時に利用したいと考えている。

■設問15

塾・予備校がIT機器やITサービスを取り入れることに関してどのように思われますか。
(お答えは1つ)

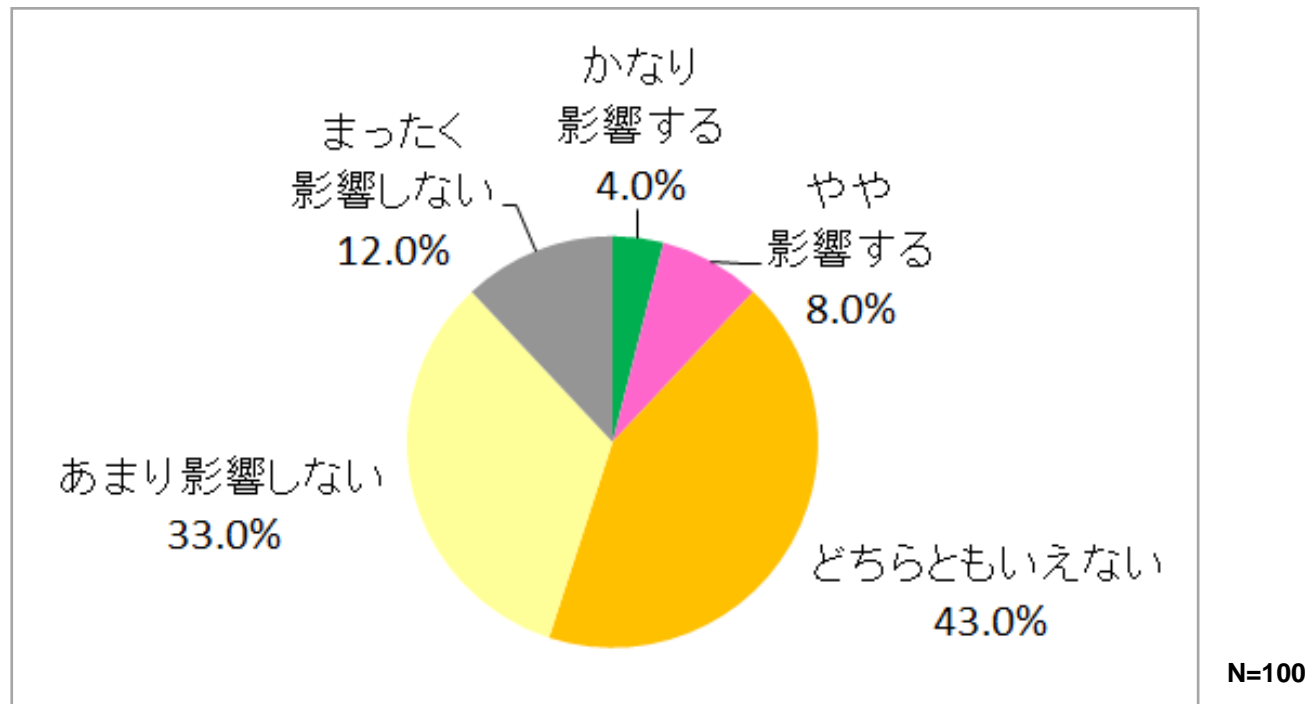


■考察

・「取り入れてほしい」と「取り入れてほしくない」がほぼ半々の結果に。

■設問16

塾・予備校が通学生向けにインターネット動画配信を行っていることが、塾・予備校選びの判断に影響しますか？(お答えは1つ)



■考察

- ・「どちらともいえない」が最多で43%。
- ・インターネット動画配信サービスの有無が塾・予備校選びに「影響する」は12%。

■設問17

今後増えると考えられるパソコンやインターネットを利用した学習について、どのような課題があるとお考えですか。(自由回答)

子供の年齢	課題	
小学校3～6年生	活用手法に疑問	学校での整備環境がまだ整っていないのと先生の数が足りない。学習方法も確立されていない
		PCで教師が一人一人に教える事が出来るのか？PCだけをやらせておけばいいと考える教師が出そう
		使いこなせる先生、生徒がどれだけいるか
	健康への影響	目が悪くならないこと
		電磁波を受けながらの学習がどう脳に影響するかについて研究され発表されるべき
		視力の低下
	有害サイト対策 セキュリティ対策	子供が一人でも安全に学習のみに使えるように他のサイトにはつながらないように設定
		いつのまにかネットサーフィンしないように、教育の媒体として認識し続けられるような対策 セキュリティの問題や、有害サイトなどへのアクセス等
	依存への不安	いいとは思いますが、書くことも大事かと
		依存してしまいそう
	必要ない	増えて欲しくないのので考えたことがない
		PCの操作自体の学習は必要だと思うが、インターネットを利用した学習の必要性をまったく感じない
	活用すべき	わからない所や知りたいところをインターネットを通して、リアルタイムで教えてもらえるといい
		エクセルでの表計算やグラフ作成ができるようになったら良いと思う
		検索で調べたりするような課題
答えがわからなかったときの個別回答や説明など		
英語のヒヤリングや発音		
	学校と自宅で共有できる事	

(一部抜粋)

■考察

- ・小学生の保護者はパソコンを使って効果的に学習できるか疑問を感じている。
- ・健康への影響や有害サイト対策を課題に挙げる人も多い。
- ・一方で、個別対応やリアルタイムでの説明に活かしてほしいという声も見られる。

子供の年齢	課題	
中学生	思考能力の低下	考える力の減退に繋がりそう
		パソコン依存、無機質、閉鎖的
		自分で考えられる力が身に付くか心配
		簡単に調べられるよりも、本人が工夫して色々調べ物ができると良い 最近塾などでもパソコンを利用した学習が主流になりつつあるようだが、余りにも依存しすぎて本来の教育内容が怠りつつあるような気がする。パソコン学習はあくまでも補助的なものであるべき。
	有害サイト対策	サイトの厳選
		いろいろな情報が多すぎる。有害なものに触れないように気をつける必要がある
	勉強に集中できるか	パソコンで遊んでしまうから
		本人が勉強中わき道に逸れなければよい
	その他	視力の低下が懸念される。長時間のインターネットはさせたくない
		操作の熟練度合い。パソコンの家族での共有。
		文字を書く行為が少なくなるので、あまり薦めたくない
	活用すべき	わからないところを質問するとすぐに説明してくれる
		いろいろ調べるのにネットは便利だから活用するべきだと思う
		宿題の提出などがインターネットを通してなされる
テスト形式		
高校生になってからが良いが専門的な事工業高校ならCAD、美術系ならペンタブなど		
インターネット授業。 いつでも自分の空いてる時間、好きな時にできることが便利だが、子供には時間の制限を付けた方がよい。塾に通うように何時から何時までしかオープンしないなどとすれば寝不足などの心配がなくなる		

(一部抜粋)

■考察

- ・中学生の保護者は、自分で考え調べる力が低下する不安を感じている。
- ・パソコンで遊んだり有害サイトに触れる危険性を懸念している。
- ・一方で、インターネットの特性を活かした学習への期待感も大きい。

子供の年齢	課題	
高校生	思考能力の低下	調べたいものを検索すると簡単に苦労しないで調べられるなどインターネット1つで出来てしまう事
		パソコンを利用することにより、読む、書くという基本的行為が少なくなり、思考能力が低くなるのでは
		動画配信の人気授業は魅力はあるが、実際に問題演習で手を動かす重要性も大きいと思うので、その比率が大事。面白い授業を見て、理解した気になることは怖い。
		パソコンで調べると、自分で調べる努力をしなくなる。勉強してるフリしてゲームで遊んでるのが嫌 レポートも作文も手書きの物がますます減る
	コミュニケーション不足	人から教わる大切さというものがあると思う
		やっぱり教えられるなら、人と人
		対話とか交流が少なくなることが予想される
		対面でのやり取りが難しくなると思います。 子供の視力低下と、他者とのコミュニケーションが取れなくなる危険性
	有害サイト対策	学習に関係のないサイトも、すぐに視聴できる環境におかれてしまう
	有害サイトの問題	
	その他	子ども自身の意欲の向上につながるかどうか
	顔が見える通信教育っぽくなるだけだと思う	
	活用すべき	家でも、学校に行っているのと同じように勉強できる
		テスト問題などの自宅学習、教師とのメールでのやり取りなど
		PCやインターネット利用は社会実務で必須なものだと思うので、実地で役立つような学習をしてほしい
調べ物やレポートなど。パソコンを利用し、レポートや作文などの作成など		
リアルタイムでの試験		
歴史上の人物などのレポート		
家に居ながらにして授業を受けられる		
時間をはかって、添削も出来る教材		

(一部抜粋)

■ 考察

- ・高校生の保護者は**思考能力の低下やコミュニケーション不足を指摘する人が多い。**
- ・家にいながらにして授業を受けられるメリットを重視する人もいる。
- ・**テストや添削、レポート作成など、より実践的な活用を期待する声も多い。**

G T 表

■設問1

お子様のご家庭でのパソコンやインターネット利用状況について、
あてはまるものをお答えください。(お答えは1つ)

		N	%
全体		100	100.0%
1	週に1時間未満	17	17.0%
2	週に1～2時間未満	19	19.0%
3	週に2～5時間未満	16	16.0%
4	週に5～10時間未満	27	27.0%
5	それ以上	9	9.0%
6	利用していない	12	12.0%

■考察

- ・「利用している」が88%、「利用していない」が12%
- ・利用している家庭のうち、週5時間以上の利用が36%。

■設問2

設問1で「利用している」と答えた方にお聞きします。
 主な利用用途は何ですか？（複数回答可）

		N	%
全体		88	100.0%
1	ゲーム	50	56.8%
2	調べもの	71	80.7%
3	電子メール	17	19.3%
4	動画共有サイトの視聴	50	56.8%
5	SNS・チャット	11	12.5%
6	音楽ダウンロード	21	23.9%
7	その他	1	1.1%

その他…通信教育

■考察

・主な利用用途は、「調べもの」「ゲーム」「動画共有サイトの視聴」など。

■設問3

設問1で「利用していない」と答えた方にお聞きします。
その理由をお答えください。(自由回答)

子供の年齢	理由
小学校3～6年生	親がついていないといけないから
	インターネットを利用させたくない
	興味が無いみたいだから
	PCを仕事に使っているので子どもに触らせたくない
	お勉強はノートに書くのが一番なので
	目が悪くなる
中学生	家族と使用時間が重なりやすい
	パソコンよりiPadがいい。パソコンは起動が面倒でウイルスチェックなど不便
高校生	携帯で足りているよう
	パソコンに興味ないし、使用禁止

(一部抜粋)

■考察

- ・小学生のうちにはパソコンやインターネットに触れさせたくないという意見が多い。
- ・中・高校生になると子供の興味が携帯やタブレットなどに移る。

■設問4

今後のお子様のパソコン・インターネット利用に関してどのようにお考えですか？（お答えは1つ）

		N	%
全体		100	100.0%
1	積極的に利用して欲しい	4	4.0%
2	現状のままでよい	75	75.0%
3	利用時間を減らして欲しい	20	20.0%
4	その他	1	1.0%

■考察

・「現状のままでよい」が75%で最多。

■設問5

現在、お子様は家庭学習にパソコン・インターネットを利用していますか？（お答えは1つ）

		N	%
全体		100	100.0%
1	利用している	36	36.0%
2	利用していない	64	64.0%

■考察

・約3人に1人が家庭学習にパソコン・インターネットを使用している。

■設問6

設問5で「利用している」と答えた方にお聞きします。どのような学習に利用されていますか？
(自由回答)

子供の年齢	利用内容
小学校3～6年生	調べものや通信教育サイトで計算問題
	英語学習ソフト
	辞書、飼育方法
	進学塾のWEB講義
	調べ物、レポート作成、YouTube視聴(学習の参考)
中学生	無料ソフトで計算などを行っている
	オンライン学習
	学校で発表するためにパワーポイントなどで資料を作ったりしている
	教材ソフト
	調べもの、通信教育
高校生	無料の練習問題をプリントしている
	英検のWebテストなど
	過去問などの検索
	学校の学習に伴う調べもの
	学習のプリントのダウンロード
	大学情報

(一部抜粋)

■考察

- ・小・中学生は通信教育や教材ソフトを使った学習、調べものなどに利用している。
- ・高校生はWebテストのほか、大学情報や過去問題の検索など受験対策に利用している人も多い。

■設問7

設問5で「利用していない」と答えた方にお聞きします。

その理由を教えてください。(自由回答)

子供の年齢	利用していない理由	
小学校3～6年生	パソコンを使った学習に否定的	パソコンを使うより紙と鉛筆と辞書を使いこなせた方が良い年齢だから
		検索するとすぐに答えが見つかるのはあまりよいと思わない
		パソコンを使わせたくないから。子供のうちは書物で調べ物をさせたい
		勉強方法としてよいと思えない
		子供だけではできないから
		まずは手で書く事や自ら本などで調べることを覚えて欲しい
	他の学習方法で足りている	パソコンは使用させていないから
		塾へ通っているので
		それ以外の教材で学習している為 PCを利用しなくても、従来の勉強方法で十分だから
	良い教材がない	金額や良い教材がわからない
		価格が高い 子供に合うものがなかなか見つからない
	その他	以前英語教材でパソコンを使用していたが高い割にすぐあきてしまい、無駄なお金になってしまったので今はやっていない
		目に悪い
		教材をしているふりをして遊びそうだから
勉強が嫌いなので、パソコンを使ってまでしたがない		

(一部抜粋)

■考察

- ・小学生のうち辞書や本を使って自分の力で調べたり書いたりしてほしいと考える保護者が多い。
- ・一方で、子供に合う良い教材がない為利用していないという家庭も少なくない。

子供の年齢	利用していない理由	
中学生	時間がない	小学生の時は時間もたっぷりあるのでやらせていたが、中学生になると部活や塾で忙しく時間がない
		塾に行っているので、時間がない
		学校や塾の宿題で時間がないから
	本人の意欲の問題	以前少しやっていたが、あまり進まなかった
		そもそも勉強をしない
		本人がやりたがらない
	他の学習方法で足りている	塾や教材を利用しているから
		パソコンではなく、DSの学習ソフトを使って勉強しているから
	必要ない	特にインターネットで学習する必要性を感じないから
		必要ないので
	その他	良い教材があれば使いたい
		教材が高い
		パソコンの使用時間が家族と重なりやすい。リビングに置いてあり、環境的に学習に適さない
		勉強しているのか遊んでいるのか区別がつかず言い訳にされてしまう
		そのような家庭学習があることを知りませんでした

(一部抜粋)

■考察

- ・中学生になると塾や部活で忙しく家庭学習の時間がなかなか取れないケースが多い。
- ・「本人がやりたがらない」「良い教材があれば使いたい」という声も。

子供の年齢	利用していない理由	
高校生	良い教材がない	良い教材がない
		どのような教材があるのか分からない
		どのような教材があるかわからない。パソコンで勉強しそうに無い
		どんな教材があるか知らないし、高いイメージがあるため
	必要ない	良いものがあれば、積極的に利用したい
		勉強は学校のことだけでいいと思うから
		特に必要を感じない
		必要ない
	本人の意欲の問題	インターネットでなくてもいい
		パソコンがなくても学習は出来る
	その他	利用出来る状態にあると思うが本人がやりたがらない
		本人任せ
		これ以上やる時間がない
		パソコンを使用した学習より机上での学習に重きを置くから
	電子辞書を利用している	
	学習するふりをしてゲームをしそう	

(一部抜粋)

■ 考察

- ・ **高校生のための良い教材がない**という意見が多い。
- ・ 「必要ない」と回答する保護者も多く、その背景には **パソコンやインターネットを使った学習の効果・メリットを実感できていない可能性**が考えられる。

■設問8

家庭でパソコン・インターネットを利用して学習することについてどのように思われますか？
(お答えは1つ)

		N	%
全体		100	100.0%
1	大変好ましい	10	10.0%
2	やや好ましい	26	26.0%
3	どちらともいえない	43	43.0%
4	やや好ましくない	13	13.0%
5	好ましくない	8	8.0%

■考察

- ・「どちらともいえない」「やや好ましい」が多い。
- ・メリットとデメリットの両方を感じている保護者が多いと推察される。

■設問9

設問8で「大変好ましい」「やや好ましい」と答えた方にお聞きします。今後、家庭でパソコン・インターネットを利用して学習する時間を更に増やしたいと考えていますか？（お答えは1つ）

		N	%
全体		36	100.0%
1	増やしたい	6	16.7%
2	現状のままでよい	29	80.6%
3	減らしたい	1	2.8%

■考察

- ・「現状のままでよい」が80.6%、「増やしたい」も16.7%。
- ・パソコン・インターネットを使った学習の効果がまだ十分に認識されていない可能性もある。

■設問10

お子様は現在、塾・予備校に通われていますか。(お答えは1つ)

		N	%
全体		100	100.0%
1	塾・予備校に通っている	37	37.0%
2	塾・予備校に通っていない	63	63.0%

■考察

- ・ 約4割の子供が塾・予備校に通っている。

■設問11

設問10で塾・予備校に「通っている」とお答えの方にお聞きします。

塾・予備校ではインターネット・パソコンを利用した学習サービスが用意されていますか。

また、利用していますか。(お答えは1つ)

		N	%
全体		37	100.0%
1	無料で用意されていて、利用している	5	13.5%
2	別料金で用意されていて、利用している	1	2.7%
3	別料金で用意されていて、利用していない	2	5.4%
4	用意されていない	21	56.8%
5	わからない	8	21.6%

■考察

- ・「利用している」が16.2%。
- ・インターネット等を利用した学習サービスが用意されていない塾・予備校が過半数。

■設問12

設問11で「利用している」とお答えの方にお伺いします。
それはどのようなサービスですか。(自由回答)

子供の年齢	利用しているサービス
小学校3～6年生	講義内容、説明会
	講義映像
中学生	講義
	テスト
高校生	定着テスト
	学習トレーニング

■考察

・塾・予備校では、講義映像を見たりテストを受けたりする学習サービスが主流。

■設問13

現在ご利用されている塾・予備校ではインターネット動画配信サービスが用意されていますか？
また、利用していますか？（お答えは1つ）

		N	%
全体		29	100.0%
1	無料で用意されていて、利用している	1	3.4%
2	別料金で用意されていて、利用している	0	0.0%
3	別料金で用意されていて、利用していない	3	10.3%
4	用意されていない	25	86.2%

■考察

- ・インターネット動画配信サービスを提供している塾・予備校はごく少数。
- ・利用しているのは無料でサービスが受けられる人のみ。

■設問14

設問13で「用意されていない」とお答えの方にお聞きします。

インターネット動画配信サービスを用意してほしいですか？（お答えは1つ）

		N	%
全体		25	100.0%
1	用意してほしい	2	8.0%
2	用意しなくてよい	10	40.0%
3	どちらともいえない	13	52.0%

Q.その理由は？

- ・復習や欠席時に利用できるから
- ・疲れたときに違う視点から勉強してほしい

Q.別料金が発生する場合負担してもよい金額は？

- ・10,000円
- ・1,500円

■考察

- ・用意してほしいと答えた人はインターネット動画配信を復習や欠席時に利用したいと考えている。

■設問15

塾・予備校がIT機器やITサービスを取り入れることに関してどのように思われますか。
(お答えは1つ)

		N	%
全体		100	100.0%
1	積極的に取り入れて欲しい	10	10.0%
2	徐々に取り入れて欲しい	39	39.0%
3	あまり取り入れて欲しいと思わない	39	39.0%
4	IT機器やサービスはまったく望まない	12	12.0%

■考察

・「取り入れてほしい」と「取り入れてほしくない」がほぼ半々の結果に。

■設問16

塾・予備校が通学生向けにインターネット動画配信を行っていることが、塾・予備校選びの判断に影響しますか？(お答えは1つ)

		N	%
全体		100	100.0%
1	かなり影響する	4	4.0%
2	やや影響する	8	8.0%
3	どちらともいえない	43	43.0%
4	あまり影響しない	33	33.0%
5	まったく影響しない	12	12.0%

■考察

- ・「どちらともいえない」が最多で43%。
- ・インターネット動画配信サービスの有無が塾・予備校選びに「影響する」は12%。

■設問17

今後増えると考えられるパソコンやインターネットを利用した学習について、どのような課題があるとお考えですか。(自由回答)

子供の年齢	課題	
小学校3～6年生	活用手法に疑問	学校での整備環境がまだ整っていないのと先生の数が足りない。学習方法も確立されていない
		PCで教師が一人一人に教える事が出来るのか？PCだけをやらせておけばいいと考える教師が出そう
		使いこなせる先生、生徒がどれだけいるか
	健康への影響	目が悪くならないこと
		電磁波を受けながらの学習がどう脳に影響するかについて研究され発表されるべき
		視力の低下
	有害サイト対策 セキュリティ対策	子供が一人でも安全に学習のみに使えるように他のサイトにはつながらないように設定
		いつのまにかネットサーフィンしないように、教育の媒体として認識し続けられるような対策 セキュリティの問題や、有害サイトなどへのアクセス等
	依存への不安	いいとは思いますが、書くことも大事かと
		依存してしまいそう
	必要ない	増えて欲しくないので考えたことがない
		PCの操作自体の学習は必要だと思うが、インターネットを利用した学習の必要性をまったく感じない
	活用すべき	わからない所や知りたいところをインターネットを通して、リアルタイムで教えてもらえるといい
		エクセルでの表計算やグラフ作成ができるようになったら良いと思う
		検索で調べたりするような課題
答えがわからなかったときの個別回答や説明など		
英語のヒヤリングや発音		
	学校と自宅で共有できる事	

(一部抜粋)

■考察

- ・小学生の保護者はパソコンを使って効果的に学習できるか疑問を感じている。
- ・健康への影響や有害サイト対策を課題に挙げる人も多い。
- ・一方で、個別対応やリアルタイムでの説明に活かしてほしいという声も見られる。

子供の年齢	課題	
中学生	思考能力の低下	考える力の減退に繋がりそう
		パソコン依存、無機質、閉鎖的
		自分で考えられる力が身に付くか心配
		簡単に調べられるよりも、本人が工夫して色々調べ物ができると良い 最近塾などでもパソコンを利用した学習が主流になりつつあるようだが、余りにも依存しすぎて本来の教育内容が怠りつつあるような気がする。パソコン学習はあくまでも補助的なものであるべき。
	有害サイト対策	サイトの厳選
		いろいろな情報が多すぎる。有害なものに触れないように気をつける必要がある
	勉強に集中できるか	パソコンで遊んでしまうから
		本人が勉強中わき道に逸れなければよい
	その他	視力の低下が懸念される。長時間のインターネットはさせたくない
		操作の熟練度合い。パソコンの家族での共有。
		文字を書く行為が少なくなるので、あまり薦めたくない
	活用すべき	わからないところを質問するとすぐに説明してくれる
		いろいろ調べるのにネットは便利だから活用するべきだと思う
		宿題の提出などがインターネットを通してなされる
テスト形式		
高校生になってからが良いが専門的な事工業高校ならCAD、美術系ならペンタブなど		
インターネット授業。 いつでも自分の空いてる時間、好きな時にできることが便利だが、子供には時間の制限を付けた方がよい。塾に通うように何時から何時までしかオープンしないなどとすれば寝不足などの心配がなくなる		

(一部抜粋)

■考察

- ・中学生の保護者は、自分で考え調べる力が低下する不安を感じている。
- ・パソコンで遊んだり有害サイトに触れる危険性を懸念している。
- ・一方で、インターネットの特性を活かした学習への期待感も大きい。

子供の年齢	課題	
高校生	思考能力の低下	調べたいものを検索すると簡単に苦労しないで調べられるなどインターネット1つで出来てしまう事
		パソコンを利用することにより、読む、書くという基本的行為が少なくなり、思考能力が低くなるのでは
		動画配信の人気授業は魅力はあるが、実際に問題演習で手を動かす重要性も大きいと思うので、その比率が大事。面白い授業を見て、理解した気になることは怖い。
		パソコンで調べると、自分で調べる努力をしなくなる。勉強してるフリしてゲームで遊んでるのが嫌
	コミュニケーション不足	レポートも作文も手書きの物がますます減る
		人から教わる大切さというものがあると思う
		やっぱり教えられるなら、人と人
		対話とか交流が少なくなることが予想される
	有害サイト対策	対面でのやり取りが難しくなると思います。
		子供の視力低下と、他者とのコミュニケーションが取れなくなる危険性
	その他	学習に関係のないサイトも、すぐに視聴できる環境におかれてしまう
		有害サイトの問題
	活用すべき	子ども自身の意欲の向上につながるかどうか
		顔が見える通信教育っぽくなるだけだと思う
		家でも、学校に行っているのと同じように勉強できる
テスト問題などの自宅学習、教師とのメールでのやり取りなど		
PCやインターネット利用は社会実務で必須なものだと思うので、実地で役立つような学習をしてほしい		
調べ物やレポートなど。パソコンを利用し、レポートや作文などの作成など		
リアルタイムでの試験		
	歴史上の人物などのレポート	
	家に居ながらにして授業を受けられる	
	時間をはかって、添削も出来る教材	

(一部抜粋)

■ 考察

- ・高校生の保護者は**思考能力の低下やコミュニケーション不足を指摘する人が多い。**
- ・家にいながらにして授業を受けられるメリットを重視する人もいる。
- ・**テストや添削、レポート作成など、より実践的な活用を期待する声も多い。**

クロス表

■設問1

お子様のご家庭でのパソコンやインターネット利用状況について、
あてはまるものをお答えください。(お答えは1つ)

<子供の年代別>

	全体	1	2	3	4	5	6
		週に 1時間 未満	週に 1 〜 2時間 未満	週に 2 〜 5時間 未満	週に 5 〜 10時間 未満	それ 以上	利用 してい ない
全体	100	17	19	16	27	9	12
	100.0%	17.0%	19.0%	16.0%	27.0%	9.0%	12.0%
小学校3～6年生	34	9	9	3	5	—	8
	100.0%	26.5%	26.5%	8.8%	14.7%	—	23.5%
中学生	33	4	5	7	9	6	2
	100.0%	12.1%	15.2%	21.2%	27.3%	18.2%	6.1%
高校生	33	4	5	6	13	3	2
	100.0%	12.1%	15.2%	18.2%	39.4%	9.1%	6.1%

■考察

・小学生は週1～2時間の利用が多い。

・中・高校生は週5～10時間の利用が多い。

■設問2

設問1で「利用している」と答えた方にお聞きします。
 主な利用用途は何ですか？(複数回答可)

<子供の年代別>

	全体	1 ゲーム	2 調べもの	3 電子メール	4 動画共有サイトの視聴	5 SNS・チャット	6 音楽ダウンロード	7 その他
全体	88 100.0%	50 56.8%	71 80.7%	17 19.3%	50 56.8%	11 12.5%	21 23.9%	1 1.1%
小学校3～6年生	26 100.0%	18 69.2%	22 84.6%	3 11.5%	12 46.2%	— —	3 11.5%	— —
中学生	31 100.0%	17 54.8%	24 77.4%	7 22.6%	16 51.6%	4 12.9%	7 22.6%	1 3.2%
高校生	31 100.0%	15 48.4%	25 80.6%	7 22.6%	22 71.0%	7 22.6%	11 35.5%	— —

その他…通信教育

■考察

・パソコン・インターネットを使って調べものをする子供が年代問わずもつとも多い。

・中学生、高校生になるにつれ、「動画共有サイトの視聴」「音楽ダウンロード」「SNS・チャット」が急増している。

■設問3

設問1で「利用していない」と答えた方にお聞きします。
その理由をお答えください。(自由回答)

子供の年齢	理由
小学校3～6年生	親がついていないといけないから
	インターネットを利用させたくない
	興味がないみたいだから
	PCを仕事に使っているので子どもに触らせたくない
	お勉強はノートに書くのが一番なので
	目が悪くなる
中学生	家族と使用時間が重なりやすい
	パソコンよりiPadがいい。パソコンは起動が面倒でウイルスチェックなど不便
高校生	携帯で足りているよう
	パソコンに興味ないし、使用禁止

(一部抜粋)

■考察

- ・小学生のうちにはパソコンやインターネットに触れさせたくないという意見が多い。
- ・中・高校生になると子供の興味が携帯やタブレットなどに移る。

■設問4

今後のお子様のパソコン・インターネット利用に関してどのようにお考えですか？（お答えは1つ）

<子供の年代別>

	全体	1	2	3	4
		積極的に利用して欲しい	現状のままでよい	利用時間を減らして欲しい	その他
全体	100 100.0%	4 4.0%	75 75.0%	20 20.0%	1 1.0%
小学校3～6年生	34 100.0%	3 8.8%	28 82.4%	2 5.9%	1 2.9%
中学生	33 100.0%	1 3.0%	21 63.6%	11 33.3%	— —
高校生	33 100.0%	— —	26 78.8%	7 21.2%	— —

■考察

・「現状のままでよい」がすべての年代で最多。

・学年が低いほど「積極的に利用してほしい」が多いことから、小学生のPC活用に検討の余地があるともいえる。

・年代が上がるにつれ「利用時間を減らして欲しい」が増えるのは、勉強に力をいれてほしいとの保護者の願いである可能性も。

■設問5

現在、お子様は家庭学習にパソコン・インターネットを利用していますか？（お答えは1つ）

<子供の年代別>

	全体	1	2
		利用している	利用していない
全体	100 100.0%	36 36.0%	64 64.0%
小学校3～6年生	34 100.0%	9 26.5%	25 73.5%
中学生	33 100.0%	15 45.5%	18 54.5%
高校生	33 100.0%	12 36.4%	21 63.6%

■考察

・小学生の約4人に1人、
中学生の約2人に1人、
高校生の約3人に1人が家庭学習にパソコン・インターネットを利用。

■設問6

設問5で「利用している」と答えた方にお聞きします。どのような学習に利用されていますか？
(自由回答)

子供の年齢	利用内容
小学校3～6年生	調べものや通信教育サイトで計算問題
	英語学習ソフト
	辞書、飼育方法
	進学塾のWEB講義
	調べ物、レポート作成、YouTube視聴(学習の参考)
	無料ソフトで計算などをしている
中学生	オンライン学習
	学校で発表するためにパワーポイントなどで資料を作ったりしている
	教材ソフト
	調べもの、通信教育
	無料の練習問題をプリントしている
高校生	英検のWebテストなど
	過去問などの検索
	学校の学習に伴う調べもの
	学習のプリントのダウンロード
	大学情報

(一部抜粋)

■考察

- ・小・中学生は通信教育や教材ソフトを使った学習、調べものなどに利用している。
- ・高校生はWebテストのほか、大学情報や過去問題の検索など受験対策に利用している人も多い。

■設問7

設問5で「利用していない」と答えた方にお聞きします。
その理由を教えてください。(自由回答)

子供の年齢	利用していない理由	
小学校3～6年生	パソコンを使った学習に否定的	パソコンを使うより紙と鉛筆と辞書を使いこなせた方が良い年齢だから
		検索するとすぐに答えが見つかるのはあまりよいと思わない
		パソコンを使わせたくないから。子供のうちは書物で調べ物をさせたい
		勉強方法としてよいと思えない
		子供だけではできないから
		まずは手で書く事や自ら本などで調べることを覚えて欲しい
	他の学習方法で足りている	パソコンは使用させていないから
		塾へ通っているので
		それ以外の教材で学習している為 PCを利用しなくても、従来の勉強方法で十分だから
	良い教材がない	金額や良い教材がわからない
		価格が高い 子供に合うものがなかなか見つからない
	その他	以前英語教材でパソコンを使用していたが高い割にすぐあきてしまい、無駄なお金になってしまったので今はやっていない
		目に悪い
教材をしているふりをして遊びそうだから		
勉強が嫌いなので、パソコンを使ってまでしたがらない		

(一部抜粋)

■考察

- ・小学生のうち辞書や本を使って自分の力で調べたり書いたりしてほしいと考える保護者が多い。
- ・一方で、子供に合う良い教材がない為利用していないという家庭も少なくない。

子供の年齢	利用していない理由	
中学生	時間がない	小学生の時は時間もたっぷりあるのでやらせていたが、中学生になると部活や塾で忙しく時間がない
		塾に行っているので、時間がない
		学校や塾の宿題で時間がないから
	本人の意欲の問題	以前少しやっていたが、あまり進まなかった
		そもそも勉強をしない
		本人がやりたがらない
	他の学習方法で足りている	塾や教材を利用しているから
		パソコンではなく、DSの学習ソフトを使って勉強しているから
	必要ない	特にインターネットで学習する必要性を感じないから
		必要ないので
	その他	良い教材があれば使いたい
		教材が高い
		パソコンの使用時間が家族と重なりやすい。リビングに置いてあり、環境的に学習に適さない
		勉強しているのか遊んでいるのか区別がつかず言い訳にされてしまう
		そのような家庭学習があることを知りませんでした

(一部抜粋)

■考察

- ・中学生になると塾や部活で忙しく家庭学習の時間がなかなか取れないケースが多い。
- ・「本人がやりたがらない」「良い教材があれば使いたい」という声も。

子供の年齢	利用していない理由	
高校生	良い教材がない	良い教材がない
		どのような教材があるのか分からない
		どのような教材があるかわからない。パソコンで勉強しそうで無い
		どんな教材があるか知らないし、高いイメージがあるため
	必要ない	良いものがあれば、積極的に利用したい
		勉強は学校のことだけでいいと思うから
		特に必要を感じない
		必要ない
		インターネットでなくてもいい
	本人の意欲の問題	パソコンがなくても学習は出来る
		利用出来る状態にあると思うが本人がやりたがらない 本人任せ
	その他	これ以上やる時間がない
		パソコンを使用した学習より机上での学習に重きを置くから
		電子辞書を利用している
		学習するふりをしてゲームをしそう

(一部抜粋)

■ 考察

- ・ **高校生のための良い教材がない**という意見が多い。
- ・ 「必要ない」と回答する保護者も多く、その背景には **パソコンやインターネットを使った学習の効果・メリットを実感できていない可能性**が考えられる。

■設問8

家庭でパソコン・インターネットを利用して学習することについてどのように思われますか？
(お答えは1つ)

<子供の年代別>

	全体	1	2	3	4	5
		大変好ましい	やや好ましい	どちらともいえない	やや好ましくない	好ましくない
全体	100	10	26	43	13	8
	100.0%	10.0%	26.0%	43.0%	13.0%	8.0%
小学校3～6年生	34	3	5	16	6	4
	100.0%	8.8%	14.7%	47.1%	17.6%	11.8%
中学生	33	2	12	15	2	2
	100.0%	6.1%	36.4%	45.5%	6.1%	6.1%
高校生	33	5	9	12	5	2
	100.0%	15.2%	27.3%	36.4%	15.2%	6.1%

■考察

・年代が上がるにつれ「好ましい」が増える傾向が見られる。

■設問9

設問8で「大変好ましい」「やや好ましい」と答えた方にお聞きします。今後、家庭でパソコン・インターネットを利用して学習する時間を更に増やしたいと考えていますか？（お答えは1つ）

<子供の年代別>

		1 増 や し た い	2 現 状 の ま ま で よ い	3 減 ら し た い
全体	36 100.0%	6 16.7%	29 80.6%	1 2.8%
小学校3～6年生	9 100.0%	2 22.2%	7 77.8%	— —
中学生	15 100.0%	2 13.3%	12 80.0%	1 6.7%
高校生	12 100.0%	2 16.7%	10 83.3%	— —

■考察

・「現状のままでよい」が8割以上。

・小学生の保護者の5人に1人が「増やしたい」と回答。

■設問10

お子様は現在、塾・予備校に通われていますか。(お答えは1つ)

<子供の年代別>

	全体	1	2
		塾・予備校に通っている	塾・予備校に通っていない
全体	100 100.0%	37 37.0%	63 63.0%
小学校3～6年生	34 100.0%	11 32.4%	23 67.6%
中学生	33 100.0%	14 42.4%	19 57.6%
高校生	33 100.0%	12 36.4%	21 63.6%

■考察

- ・ 約4割の子供が塾・予備校に通っている。

■設問11

設問10で塾・予備校に「通っている」とお答えの方にお聞きします。

塾・予備校ではインターネット・パソコンを利用した学習サービスが用意されていますか。

また、利用していますか。(お答えは1つ)

<子供の年代別>

	全体	1	2	3	4	5
		利用料 して いる されて いて	別 料 金 で 用 意 さ れ て い て	利 用 料 金 で 用 意 さ れ て い て	利 用 料 金 で 用 意 さ れ て い て	用 意 さ れ て い な い
全体	37	5	1	2	21	8
	100.0%	13.5%	2.7%	5.4%	56.8%	21.6%
小学校3～6年生	11	1	1	—	6	3
	100.0%	9.1%	9.1%	—	54.5%	27.3%
中学生	14	2	—	2	7	3
	100.0%	14.3%	—	14.3%	50.0%	21.4%
高校生	12	2	—	—	8	2
	100.0%	16.7%	—	—	66.7%	16.7%

■考察

・「利用している」が
16.2%。

・インターネット等を利用した学習サービスが用意されていない塾・予備校が過半数。

■設問12

設問11で「利用している」とお答えの方にお伺いします。
それはどのようなサービスですか。(自由回答)

子供の年齢	利用しているサービス
小学校3～6年生	講義内容、説明会
	講義映像
中学生	講義
	テスト
高校生	定着テスト
	学習トレーニング

■考察

・塾・予備校では、講義映像を見たりテストを受けたりする学習サービスが主流。

■設問13

現在ご利用されている塾・予備校ではインターネット動画配信サービスが用意されていますか？
また、利用していますか？（お答えは1つ）

<子供の年代別>

	全体	1	2	3	4
		利用 料 し て い る	利 別 用 料 し 金 で 用 意 さ れ て い て	利 別 用 料 し 金 で 用 意 さ れ て い て	利 別 用 料 し 金 で 用 意 さ れ て い て
全体	29 100.0%	1 3.4%	-	3 10.3%	25 86.2%
小学校3～6年生	8 100.0%	1 12.5%	-	-	7 87.5%
中学生	11 100.0%	-	-	2 18.2%	9 81.8%
高校生	10 100.0%	-	-	1 10.0%	9 90.0%

■考察

・インターネット動画配信サービスを提供している塾・予備校はごく少数。

・利用しているのは無料でサービスが受けられる人のみ。

■設問14

設問13で「用意されていない」とお答えの方にお聞きします。

インターネット動画配信サービスを用意してほしいですか？（お答えは1つ）

<子供の年代別>

	全体	1 用意してほしい	2 用意しなくてよい	3 どちらともいえない
全体	25 100.0%	2 8.0%	10 40.0%	13 52.0%
小学校3～6年生	7 100.0%	—	4 57.1%	3 42.9%
中学生	9 100.0%	1 11.1%	3 33.3%	5 55.6%
高校生	9 100.0%	1 11.1%	3 33.3%	5 55.6%

Q.その理由は？

- ・復習や欠席時に利用できるから
- ・疲れたときに違う視点から勉強してほしい

Q.別料金が発生する場合負担してもよい金額は？（月額）

- ・10,000円
- ・1,500円

■考察

・用意してほしいと答えた人はインターネット動画配信を復習や欠席時に利用したいと考えている。

■設問15

塾・予備校がIT機器やITサービスを取り入れることに関してどのように思われますか。
(お答えは1つ)

<子供の年代別>

	1	2	3	4	
全体	取り積 り極 入的 れに て 欲 し い	取徐 り々 入に れ て 欲 し い	欲あ しま いり と取 思り わ入 なれ いて	まI っT た機 く器 望や まサ ない ビス は	
全体	100 100.0%	10 10.0%	39 39.0%	39 39.0%	12 12.0%
小学校3~6年生	34 100.0%	3 8.8%	10 29.4%	14 41.2%	7 20.6%
中学生	33 100.0%	3 9.1%	15 45.5%	11 33.3%	4 12.1%
高校生	33 100.0%	4 12.1%	14 42.4%	14 42.4%	1 3.0%

■考察

・「取り入れてほしい」と
「取り入れてほしくない」
がほぼ半々の結果に。

■設問16

塾・予備校が通学生向けにインターネット動画配信を行っていることが、塾・予備校選びの判断に影響しますか？(お答えは1つ)

<子供の年代別>

		1	2	3	4	5
	全体	かなり影響する	やや影響する	どちらともいえない	あまり影響しない	まったく影響しない
全体	100 100.0%	4 4.0%	8 8.0%	43 43.0%	33 33.0%	12 12.0%
小学校3～6年生	34 100.0%	3 8.8%	1 2.9%	13 38.2%	11 32.4%	6 17.6%
中学生	33 100.0%	— —	3 9.1%	15 45.5%	11 33.3%	4 12.1%
高校生	33 100.0%	1 3.0%	4 12.1%	15 45.5%	11 33.3%	2 6.1%

■考察

・年代問わず「どちらともいえない」が最多で43%。

・インターネット動画配信サービスの有無が塾・予備校選びに「影響する」は12%。

■設問17

今後増えると考えられるパソコンやインターネットを利用した学習について、どのような課題があるとお考えですか。(自由回答)

子供の年齢	課題	
小学校3～6年生	活用手法に疑問	学校での整備環境がまだ整っていないのと先生の数が足りない。学習方法も確立されていない
		PCで教師が一人一人に教える事が出来るのか？PCだけをやらせておけばいいと考える教師が出そう
		使いこなせる先生、生徒がどれだけいるか
	健康への影響	目が悪くならないこと
		電磁波を受けながらの学習がどう脳に影響するかについて研究され発表されるべき
		視力の低下
	有害サイト対策 セキュリティ対策	子供が一人でも安全に学習のみに使えるように他のサイトにはつながらないように設定
		いつのまにかネットサーフィンしないように、教育の媒体として認識し続けられるような対策
		セキュリティの問題や、有害サイトなどへのアクセス等
	依存への不安	いいとは思いますが、書くことも大事かと
		依存してしまいそう
	必要ない	増えて欲しくないので考えたことがない
		PCの操作自体の学習は必要だと思うが、インターネットを利用した学習の必要性をまったく感じない
	活用すべき	わからない所や知りたいところをインターネットを通して、リアルタイムで教えてもらえるといい
		エクセルでの表計算やグラフ作成ができるようになったら良いと思う
検索で調べたりするような課題		
答えがわからなかったときの個別回答や説明など		
英語のヒヤリングや発音		
	学校と自宅で共有できる事	

(一部抜粋)

■考察

- ・小学生の保護者はパソコンを使って効果的に学習できるか疑問を感じている。
- ・健康への影響や有害サイト対策を課題に挙げる人も多い。
- ・一方で、小学生のうちから活用すべきという声も多い。

■設問17

今後増えると考えられるパソコンやインターネットを利用した学習について、どのような課題があるとお考えですか。(自由回答)

子供の年齢	課題	
小学校3～6年生	活用手法に疑問	学校での整備環境がまだ整っていないのと先生の数が足りない。学習方法も確立されていない
		PCで教師が一人一人に教える事が出来るのか？PCだけをやらせておけばいいと考える教師が出そう
		使いこなせる先生、生徒がどれだけいるか
	健康への影響	目が悪くならないこと
		電磁波を受けながらの学習がどう脳に影響するかについて研究され発表されるべき
		視力の低下
	有害サイト対策 セキュリティ対策	子供が一人でも安全に学習のみに使えるように他のサイトにはつながらないように設定
		いつのまにかネットサーフィンしないように、教育の媒体として認識し続けられるような対策 セキュリティの問題や、有害サイトなどへのアクセス等
	依存への不安	いいとは思いますが、書くことも大事かと
		依存してしまいそう
	必要ない	増えて欲しくないのので考えたことがない
		PCの操作自体の学習は必要だと思うが、インターネットを利用した学習の必要性をまったく感じない
	活用すべき	わからない所や知りたいところをインターネットを通して、リアルタイムで教えてもらえるといい
		エクセルでの表計算やグラフ作成ができるようになったら良いと思う
		検索で調べたりするような課題
答えがわからなかったときの個別回答や説明など		
英語のヒヤリングや発音		
	学校と自宅で共有できる事	

(一部抜粋)

■考察

- ・小学生の保護者はパソコンを使って効果的に学習できるか疑問を感じている。
- ・健康への影響や有害サイト対策を課題に挙げる人も多い。
- ・一方で、個別対応やリアルタイムでの説明に活かしてほしいという声も見られる。

子供の年齢	課題	
中学生	思考能力の低下	考える力の減退に繋がりそう
		パソコン依存、無機質、閉鎖的
		自分で考えられる力が身に付くか心配
		簡単に調べられるよりも、本人が工夫して色々調べ物ができると良い 最近塾などでもパソコンを利用した学習が主流になりつつあるようだが、余りにも依存しすぎて本来の教育内容が怠りつつあるような気がする。パソコン学習はあくまでも補助的なものであるべき。
	有害サイト対策	サイトの厳選
		いろいろな情報が多すぎる。有害なものに触れないように気をつける必要がある
	勉強に集中できるか	パソコンで遊んでしまうから
		本人が勉強中わき道に逸れなければよい
	その他	視力の低下が懸念される。長時間のインターネットはさせたくない
		操作の熟練度合い。パソコンの家族での共有。
		文字を書く行為が少なくなるので、あまり薦めたくない
	活用すべき	わからないところを質問するとすぐに説明してくれる
		いろいろ調べるのにネットは便利だから活用するべきだと思う
		宿題の提出などがインターネットを通してなされる
テスト形式		
高校生になってからが良いが専門的な事工業高校ならCAD、美術系ならペンタブなど		
インターネット授業。 いつでも自分の空いてる時間、好きな時にできることが便利だが、子供には時間の制限を付けた方がよい。塾に通うように何時から何時までしかオープンしないなどとすれば寝不足などの心配がなくなる		

(一部抜粋)

■考察

- ・中学生の保護者は、自分で考え調べる力が低下する不安を感じている。
- ・パソコンで遊んだり有害サイトに触れる危険性を懸念している。
- ・一方で、インターネットの特性を活かした学習への期待感も大きい。

子供の年齢	課題	
高校生	思考能力の低下	調べたいものを検索すると簡単に苦労しないで調べられるなどインターネット1つで出来てしまう事
		パソコンを利用することにより、読む、書くという基本的行為が少なくなり、思考能力が低くなるのでは
		動画配信の人気授業は魅力はあるが、実際に問題演習で手を動かす重要性も大きいと思うので、その比率が大事。面白い授業を見て、理解した気になることは怖い。
		パソコンで調べると、自分で調べる努力をしなくなる。勉強してるフリしてゲームで遊んでるのが嫌
	コミュニケーション不足	レポートも作文も手書きの物がますます減る
		人から教わる大切さというものがあると思う
		やっぱり教えられるなら、人と人
		対話とか交流が少なくなることが予想される
	有害サイト対策	対面でのやり取りが難しくなると思います。
		子供の視力低下と、他者とのコミュニケーションが取れなくなる危険性
	その他	学習に関係のないサイトも、すぐに視聴できる環境におかれてしまう
		有害サイトの問題
	活用すべき	子ども自身の意欲の向上につながるかどうか
		顔が見える通信教育っぽくなるだけだと思う
家でも、学校に行っているのと同じように勉強できる		
テスト問題などの自宅学習、教師とのメールでのやり取りなど		
PCやインターネット利用は社会実務で必須なものだと思うので、実地で役立つような学習をしてほしい		
調べ物やレポートなど。パソコンを利用し、レポートや作文などの作成など		
リアルタイムでの試験		
活用すべき	歴史上の人物などのレポート	
	家に居ながらにして授業を受けられる	
	時間をはかって、添削も出来る教材	

(一部抜粋)

■ 考察

- ・高校生の保護者は**思考能力の低下**や**コミュニケーション不足**を指摘する人が多い。
- ・家にいながらにして授業を受けられるメリットを指摘する声も重視する人もいる。
- ・**テストや添削、レポート作成など、より実践的な活用を期待する声も多い。**

小・中・高校生のパソコン・インターネットを利用した学習に関する意識調査報告書

2012年7月発行

発行： 株式会社デジタル・ナレッジ「eラーニング戦略研究所」
〒110-0005 東京都台東区上野5丁目3番4号 eラーニング・ラボ 秋葉原

<http://Study.jp/esri>

Tel. 03-5846-2131 / Fax. 03-5846-2132

(禁無断転載・転用・複写)

eラーニング戦略研究所
eLearning Strategy Research Institute
株式会社デジタル・ナレッジ <http://study.jp>